

病防第87号
平成24年9月13日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、平成24年度病虫害発生予察注意報第2号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

平成24年度病虫害発生予察注意報第2号

農作物名	メロン、スイカ、キュウリ
病虫害名	メロン退緑黄化病、スイカ退緑えそ病、キュウリ退緑黄化病
病原ウイルス	ウリ類退緑黄化ウイルス Cucurbit chlorotic yellows virus ; CCYV
媒介昆虫	タバココナジラミ

- 1 発生地域 ウリ科野菜連作地帯
- 2 発生時期 9月中旬以降
- 3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

- (1) 8月14日～9月8日、県内6地点に黄色粘着トラップを設置し、タバココナジラミの発生状況を調査した。その結果、タバココナジラミの成虫数は、7.1頭/日/トラップと前年(5.8頭/日/トラップ)並であった(図1)。
- (2) 捕獲されたタバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス保毒虫率は、47.8%と前年(8.4%)に比べ高かった(図2)。
- (3) 感染リスクの程度を示す保毒虫数(捕獲虫数×保毒虫率)は、3.4頭/日/トラップと前年(0.5頭/日/トラップ)に比べ高かった(図3)。
- (4) 以上の結果から、前年に比べウリ類退緑黄化ウイルスの感染リスクが高いと考えられる。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 本ウイルスは、タバココナジラミによってウリ科作物からウリ科作物へ媒介される。対策の基本は、発生ほ場から未発生ほ場へ繋がる伝染環を切断することである。
- (2) 本病害発生ほ場からのタバココナジラミの飛び出しを防ぐため、栽培終了まで、防除を徹底する。
- (3) 栽培終了後は直ちに密閉処理を行い、ほ場内のタバココナジラミを死滅させる。密閉できないほ場では、成虫に効果の高い薬剤で防除したうえで片付ける。
- (4) ほ場へのタバココナジラミの侵入を防ぐため、サイド開口部に目合い0.4mm防虫ネット、谷換気部に目合い1mm以下の防虫ネットを被覆する。
- (5) 定植2～3日前に、定植予定の苗の株元へ粒剤を処理し、定植直後のウイルス感染を防ぐ。また、粒剤の効果が低下する定植20～30日後に成虫に効果の高い薬剤を散布する。

- (6) 育苗ハウスから苗を運ぶ際には、移動中にタバココナジラミが寄生しないよう、運搬車等の荷台を防虫ネットや幌等で覆う。
- (7) 施設内の発病株や周辺の野良生えは、重要な伝染源となるので除去する。

※なお、本文はホームページ「<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>」に掲載しています。

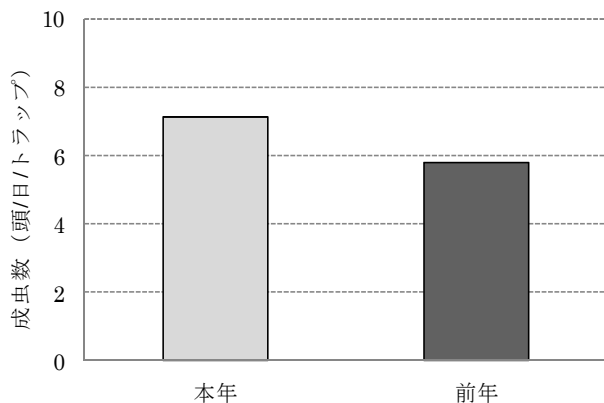


図1 8月中旬～9月上旬に設置した黄色粘着板におけるタバココナジラミ捕獲成虫数 (6地点平均)

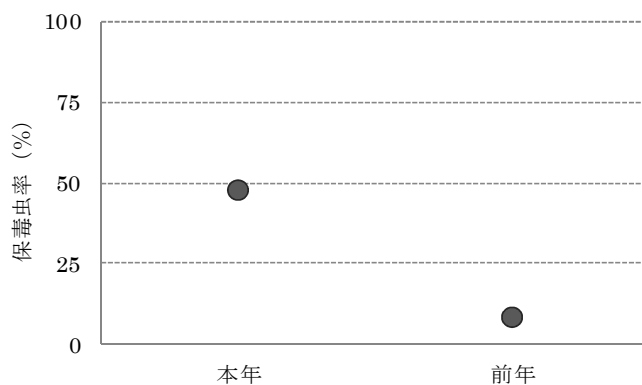


図2 捕獲されたタバココナジラミ成虫のウリ類退緑黄化ウイルス保毒虫率 (各地点から12～35頭を採取して検定した。値は6地点平均)

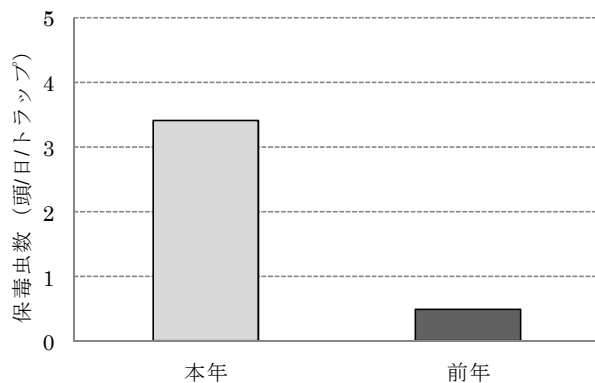


図3 8月中旬～9月上旬における保毒虫数 (保毒虫数=捕獲虫数×保毒虫率)

問い合わせ先
 熊本県病害虫防除所
 (生産環境研究所)
 TEL 096-248-6490
 行徳・児玉
 TEL: 096-248-6490